



緊急・防災

緊急……消防本部 (☎36-0119 FAX36-8320 千歳1)
 防災……危機管理防災本部 (☎39-2262 FAX39-2283 アオーレ長岡)
 原子力安全対策室 (☎39-2305 FAX39-2309 アオーレ長岡)
 各支所地域振興課 (☎・FAXは3ページ)

■火災・救急 ☎119

▼火災の通報

次の事を伺います。落ち着いて教えてください。

- ①住所または場所 ②目標になるもの
- ③何が燃えているのか ④逃げ遅れた人はいるのか
- ⑤あなたの名前、電話番号

▼救急車の要請

次の事を伺います。落ち着いて教えてください。

- ①住所または場所 ②目標になるもの
 - ③けが人、病人の状況 ④あなたの名前、電話番号
- ※電話している間に、消防車・救急車は現場に向かっています

▼急患診療 (いずれもさいわいプラザ内)

裏表紙「休日・夜間・子どもの急患診療」をご覧ください。

消防テレホンガイド ☎33-9119

消防車が出動したときは、発生場所・内容を案内(市ホームページでも確認できます)。
 通常は、急患診療の連絡先を案内します。

★消防に関する問い合わせは、消防本部のほか、各消防署や各出張所にどうぞ。住所、電話番号は28ページ(テレホンガイド)をご覧ください。川口地域は小千谷市消防本部の管轄です。

■原子力安全対策

原子力災害時の基本的な行動や安全対策の取り組みをまとめた「原子力防災ガイドブック」と「原子力災害時の屋内退避・避難の行動」を配布しています。



■防災

長岡市は、平成16年の7.13水害や中越大地震、平成19年の中越沖地震などたび重なる災害経験を教訓に、市民、地域、行政などが一体となった防災に向けたさまざまな取り組みを行っています。

①避難情報の伝達方法

水害などの恐れがある場合、みなさんに余裕をもって避難してもらうため、避難勧告の発令よりも前に「避難準備情報」を発表します。

緊急告知FMラジオ(27ページ下)や緊急速報メール(エリアメール)、ながおか防災ホームページ※、テレビ、町内会や自主防災会の連絡網などで避難情報をお伝えします。地域によっては、防災行政無線や広報車なども活用します。

▼避難準備情報って何?

避難勧告や避難指示が発令されたとき、すぐに避難できるよう早めの備えを促すために発表するものです。すぐに避難しなければならない状況ではありませんが、高齢者など迅速な避難が困難な人たちのために、対象地域に避難所を開設します。

緊急時は、FMながおか(80.7MHz)に災害情報を割り込み放送します

地震や大雨などのときは、ラジオで積極的な情報収集に努めてください。

②自主防災会

住民が助け合って災害に備え、乗り越えることができるように活動する組織です。市は、「自主防災会結成と活動の手引き」を配布するなど、地域の力で災害に備える活動を支援しています。



③我が家が避難所

地震による被害を少なくするには、家具の固定はもちろん、建物の強化が大切です。

長岡市は耐震診断や耐震改修工事費の一部を助成しています(圏都市開発課☎39-2226)。特に、昭和56年5月以前に建てられた建物は、耐震診断を受けることをお勧めします。

また、災害に備え、最低3日分(可能なら1週間分)の食料と飲料水、ラジオ、懐中電灯などを備蓄し、我が家を安全で安心できるものにしましょう。全市民が防災意識を持ち、災害に備えた実践的な取り組みを行いましょう。

④避難所環境の整備

「避難準備情報」を発表したときや、震災などで大きな被害が発生した場合、各地域に避難所を開設します。

開設された避難所であればこの避難所に避難してもかまいません。市ホームページやながおか防災ホームページ※などで最寄りの避難所を事前に確認してください。

また、市は、避難所の耐震化や簡易更衣室・授乳室の設置などみなさんが安心して避難できる環境の整備を進めています。

市内の消防団車庫には発電機や投光器を配備しました。災害時はもちろん、平常時も町内の祭りや地域活動の際などに貸し出します。積極的にご利用ください。

⑤中越市民防災安全大学

地域の防災リーダーとなる人材の育成を目的に開校した大学です。運営は市内の3大学などが中心となって設立した公益社団法人中越防災安全推進機構(大手通2☎39-5525)。講座は高校生以上から受講でき、地元大学をはじめ全国の防災専門家や行政などの実務担当者が講義や実技指導を行います。受講修了者は「中越市民防災安全士」に認定され、地域コミュニティの防災安全活動の中核を担って活躍することが期待されています。

また、全国に通用する「防災士」の受験資格を得ることもできます。



※ながおか防災ホームページ
<http://www.bousai.city.nagaoka.niigata.jp/>

⑥災害時の窓口

内 容	窓 口	電 話
全体のこと	危機管理 防災本部	☎39-2262
避難情報や防災情報の伝達		
河川増水や土砂災害など	河川港湾課	☎39-2233
道路被害や道路除雪など	道路管理課	☎39-2232
農地・森林・農林業用施設の被害や応急復旧など	農林整備課	☎39-2224
水道の断水、にごり水	水道局管路課	☎35-0017
避難行動要支援者の支援活動	全般	福祉総務課 ☎39-2217
	高齢者など	介護保険課 ☎39-2245
	障害者など	長寿はつらつ課 ☎39-2268
	福祉課	☎39-2343
宅地・建物等応急危険度判定	都市開発課	☎39-2226
被害家屋調査・り災証明	資産税課	☎39-2213
消毒などの防疫および保健衛生上必要な対策	健康課	☎39-7508
被害により排出したごみの処理やし尿のくみ取りなど	環境業務課	☎24-2837
ボランティア活動に関すること	福祉総務課	☎39-2217
	社会福祉協議会	☎33-6000
心のケアに関すること	健康課	☎39-7508

☆危機管理防災本部では、防災に関する各種パンフレットを用意しています。お気軽にお問い合わせください。

▼NPO(市民団体)による情報提供

【NPO法人住民安全ネットワークジャパン】

<http://jmjp.jp/ht/>

→携帯電話のメールで災害情報や不審者情報などを受けられます。避難行動要支援者とその支援者などへ災害情報の配信も行っています(登録が必要)。

▼緊急告知FMラジオ

FMながおかを聴いていない状態でも、緊急情報放送時には、自動的に電源が入り、最大音量で放送を受信します。

詳しくは、危機管理防災本部へ。

